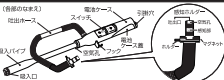


灯油ポンプ MG-FR20L

取扱説明書 **要保存**

このたびは、軽油ポンプMG-FR20Lをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用時に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
ご不明な点や修理、いつでも取り扱ってくださることに大切に保管してください。

PAT.



- 警告** **強力なマグネット(磁石)を使用しています。**
- ベアスーマーカークロムなど医療機器を構え込むなど、治療をされている方はこのポンプのご使用をお控えください。
 - 電子医療機器の近くまでのご使用、保管は機器に影響を与える恐れがあります。
- 注意**
- 磁気記録媒体(フロッピーディスク、MO、磁気テープ、磁気カード、プリペイドカード、切符、MDなど)に近づけると記録が破壊されるまたは磁化されて使用できなくなる場合があります。
 - 各種電子機器、映像機器、通信機器(CD/DVDプレーヤー、時計、携帯電話など)に近づけないでください。正常動作が阻害されたり、故障の原因になることがあります。

必ずお守りください

1. 給油について

- 給油の際は必ずストーブの火を消し、ストーブの温度が十分に下がっていることを確認し、給油してください。火災の原因となります。
- 給油は必ず火の気のない場所で行い、給油中は絶対にポンプの側を離れないでください。
- 給油中に吐出ホースなどに触れたり、衝撃を与えるとストーブの給油口から感知ホルダーが外れる恐れがあります。
- 室内など、汚れては困る場所では使用しないでください。屋外など、灯油がこぼれても良い場所でご使用ください。 ※誤作動により再始動したり、感知ホルダーが外れた場合、灯油がこぼれ、タタミや床、カーペット、車内などを汚す恐れがあります。
- 給油終了後は、必ずスイッチを「切」にし、灯油缶よりポンプを取り出して灯油をよくきり、ポンプ収納ケースまたは、吊り下げするなどして保管してください。
- 弊社別売りのポンプ収納ケースPS-1をお勧めします。
- ※給油後は、絶対にポンプを灯油缶に差し込んでおかないでください。誤作動により再始動する恐れがあります。
- このポンプは、防水構造ではありませんので雨や雪、夜露、水がかからない場所でご使用(給油)及び保管をしてください。
- ※誤作動により再始動したり自動停止しないなど、故障の原因となります。

2. 乾電池について

- 使用推奨範囲を確認いただき、使用推奨範囲が十分ある新しいアルカリ乾電池をご使用ください。
- マンガン乾電池はご使用にならないでください。
- 二次電池(充電式電池)はご使用にならないでください。
- 乾電池は気温の低い場所ではパワーが低下し、使用できなくなる場合があります。
- 経過(5℃未満)の状態ではポンプに乾電池を入れたまま保管すると、乾電池の性能を十分に発揮できず動かさない場合があります。
- ※乾電池の保管は10℃～25℃が適切とされています。直射日光、高温多湿を避け保管してください。

準備 1 乾電池の入れ方



- ①乾電池の蓋を開く。その他の説明書をお読みください。
- ②電池ケース蓋の両面に合わせ、**+**を蓋側、**-**を電池蓋側を正しく入れてください。
- ③電池ケース蓋のシメを電池ケースにはめ込み、電池ケース蓋をしっかりと閉めてください。

- 注意**
- 乾電池の蓋を開く、その他の説明書をお読みください。
 - 1. 乾電池は必ず新しいものを使用してください。
 - 2. 乾電池を取り替える時は、一度に2本とも取り替えてください。
 - 3. 乾電池は2本とも同じ銘柄のものを使用してください。
 - 4. 長期間(2週間以上)使用しない時は、必ず乾電池を取り外してください。

準備 2 操作方法について

- ①吸入パイプを灯油缶に差し込んでください。
- ②感知ホルダーを給油口に差し込んでください。
※感知ホルダーがしっかり固定されていることを確認してください。
- ③スイッチを「入」方向にスライドさせると給油を開始します。
※感知位置まで給油すると自動的に停止し、LEDライトが点滅します。
※ストーブの種類によっては給油量が「満」位置まで給油せずに停止するものがあります。
- ④自動停止後は、必ずスイッチを「切」方向にスライドさせ、ポンプが停止していることを確認し、吐出ホース内の残った灯油がタンク内に流れ込んだことを確認し、図4のように感知部を少し傾し、しずく垂れに注意しながらゆっくり引き上げて取り外してください。
※途中で給油を中止する場合は、スイッチを「切」方向にスライドさせ、ポンプが停止していることを確認してください。
※本品は自動停止後、スイッチを「切」にするまでLEDライトが点滅する仕様です。



- ご使用になる前に以下のことを必ず確認してください。
- (図5)のようなタンク一体型ストーブ専用です。
給油口内径20mm～24mm以外では使用になりません。
 - 灯油缶など吸入口内径33mm以下のものにはご使用になりません。
 - (図6)のような大型ストーブやカートリッジタンクにはご使用になりません。
※タンク一体型専用のセンサー検知設計のため、タンク一体型タンク以外に給油された場合は、灯油があふれます。
 - 吐出ホースに破損やゆるみがないか確認してください。
※使用頻度や保管状態によっては、吐出ホースの破損や歪みが発生する場合がありますので異常がある場合は使用しないでください。
 - スイッチが「切」位置にあることを確認してください。
 - 空運転をしないでください。故障の原因となります。
 - 直射日光の当たる場所や強い電磁場のもとで使用しないでください。
※自動停止しない場合があります。
 - 感知ホルダーを給油口にセットする前にスイッチを「入」にするとポンプが作動し灯油があふれます。



使用上のお問い合わせ

- ①給油は、必ず火の気のない安全な場所で行ってください。
- ②給油は、必ずストーブの火を消し、完全にストーブの温度が下がっていることを確認してから給油してください。 ※灯油があふれた場合、火災の原因となります。
- ③給油中はポンプの側を絶対に離れないでください。 ※灯油があふれた場合、火災の原因となります。
- ④吐出ホース・吸入パイプを強く曲げたり、他のものと強く押し合わせないでください。
※亀裂や穴があき灯油漏れの原因となります。 灯油が漏れた場合は使用しないでください。
- ⑤ポンプを落とさせたり、強い衝撃を与えないでください。 変形や故障の原因となります。
- ⑥本体の空気孔を塞がないでください。 空気が入らなると自動停止せずあふれる原因となります。
※空気孔から少量の灯油が溢れ出すことがありますが、故障ではありません。
- ⑦センサーが汚れたり、曇りがついたり異物が付着した場合、自動停止せずあふれる原因となります。
※このポンプは、防水構造ではありませんので雨や雪、夜露、水がかからないようにしてください。
※誤作動により再始動したり、自動停止しないなど、故障の原因となります。
- ⑧通常の使用にもかかわらず動かなくなったり異常がある場合は、事故防止の為、使用を中止し、乾電池を取り外していただき、下記のくこの商品に関するお問い合わせ先へまでご連絡ください。

- 注意**
- 自動停止せずあふれた場合、スイッチを「切」にし、灯油缶よりポンプを抜きとってください。
 - このポンプは「灯油専用」です。 ガソリン・シンナー・アルコールなどの揮発性の高い液体、酸・アルカリなどの腐食性の高い液体、水は絶対に使用しないでください。
※火災や故障の原因となります。
 - ポンプの分解や改造は絶対にしないでください。 ※故障や異常動作を起こす原因となります。
 - お子様だけの給油は絶対にさせないでください。
 - 古い灯油は使用しないでください。

保管のしかた

- 毎日使用される場合でも、必ず灯油缶からポンプを取り出し灯油をよくきり、雨や雪、夜露など水に濡れる恐れのあるところ、直射日光の当たる場所を避けて保管してください。
※防水構造ではありませんので誤作動を起こすなど、故障の原因となります。
 - ポンプが劣化し、吐出ホースが割れたり穴があく原因となります。
 - ポンプは、上下逆さま(電池ケース部分を下向き)にしないでください。
ポンプ内に残った灯油が漏れる恐れがあります。
 - ポンプの保管はポンプ収納ケースまたは吊り下げするなどして保管してください。
※弊社別売りのポンプ収納ケースをお勧めします。
- 【長期間使用しないとき】**
- 長期間(2週間以上)ご使用にならないときは、必ず乾電池を取り外し、ポンプに残った灯油をよくきり、乾いた布で拭き、ビニール袋などに入れ雨や雪、夜露など水に濡れる恐れのある所、直射日光を避け、子供の手が届かない所で保管してください。

故障かな？と思ったとき



型 式	MG-FR20L	購入後の使用保管や、修理・故障に関するお問い合わせは、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。 ※ご購入の際は、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。 ※ご購入の際は、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
使 用 乾 電 池	単一形アルカリ乾電池×2本	
主 材 質	ABS樹脂・ポリプロピレン・ポリエチレン	
寸 法	5.0(φ)×11.5(φ)×8.0(φ)mm	
ポンプ駆動方式	マグネット駆動方式	
電子制御方式	トランジスタ方式	
セ ン サ ー	非接触型マグネット方式	
使 用 温 度	-5℃～+45℃	
使 用 液 体	灯油(ISO150)	

本書は、この「取扱説明書」に記載されている内容を忠実に再現したものであり、そのほかの不具合については、当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。